今週の相場はどうなる？

作成者：山根亜希子

〇12月25日～

先週は日銀が金融緩和を維持すると発表し、警戒されていたマイナス金利の解除などの政策変更がなかったことでマーケットはリスクオン的な雰囲気となりました。
米国株はNYダウが37000を超えるなど強い動きが続いています。
今週は植田・日銀総裁の経団連の講演で、来年以降の政策について何か話が出るかにも注目したいです。
日銀は賃金と物価の好循環を重視しているため賃金上昇がこの春に進むかどうかを見極めてから政策変更に動く可能性があります。
庶民の感覚としては、食料品の値上がり率などが高いのでインフレになっているという感じですが日銀の認識は庶民とは少し違うようです。
海外では物価高を抑えるために利上げを今まで行ってきたのですが日本は物価高を抑えるために利上げに転じるという動きにはなっていません。
来年は日本がどう動くかがかなり重要になってきそうです。
来年は海外では利下げをいつから開始するかということに注目が集まっていますがマーケットが思っているようなペースでの利下げが行われるかどうかわかりません。
欧州はリセッション（景気後退）入りの可能性が高まっているので、来年以降の欧州の景気にも注目しておきたいです。
今週は、月曜はほとんどの国がクリスマスで休場となっています。
取引量があまりないため荒っぽい動きになったりすることもあるので、リスク管理はしっかりしておきたいです。

● テクニカルで見た重要ポイントは？

＜ドル／円＞

先週は 145 円あたりまで上昇した後は勢いがなくなり、142 円台まで下がってマーケットが終わっています。
流れとしてはまだ下向きですが 140 円を割らずに底固め中のように見えるので、141円を維持できれば大きな円高リスクはないと考えて買いのチャンスを狙いたいです。
下値は、141円あたりのサポートを割り込むと12 月中旬につけた安値140．95円あたりが重要サポートに。
ここを割り込まなければ上昇に転じる可能性が高まります。

Copyright©（有）ユビキタストレーディング　All Rights Reserved

今週の相場はどうなる？

上値は、144円、145 円あたりに抵抗があるので、ここを超えていく動きが出れば上昇に勢いがつきそう。
今週は141－145円あたりのレートを意識しながらトレードしたいです。

＜気になるクロス円＞

クロス円もそろそろ上昇に転じそうなペアが多く、買いのチャンスを狙っていきたいです。
ユーロもポンドも 12 月中旬の安値を割り込んでいくような動きにはなっていないためじわじわと上昇していく動きが出ることに期待したいです。
少し下がってきたところを狙って安く買いたいです。
オセアニア通貨も下落リスクはそれほどなさそうなので、安いところを買っていきたいです。
今週は動きが少ないかもしれないので、欲張らずに買ったものに利益が出れば利益確定も確実にしていきたいです。
南アフリカのランドはまだ下げ止まっていないので、下げ止まるまで買いは様子見がよさそうです。

＊クロス円とは円との通貨ペアの総称：〇〇／円というような通貨ペアのことです。

＜今週のファンダメンタル？＞

日本では植田・日銀総裁発言、11月鉱工業生産などがあります。
米国では10月ケース・シラー米住宅価格指数、12月リッチモンド連銀製造業指、前週分新規失業保険申請件数、11月住宅販売保留指数、12月シカゴ購買部協会景気指数などが発表されます。
欧州ではユーロ圏、ドイツで特に重要指標の発表はありません。

Copyright© （有）ユビキタストレーディング　All Rights Reserved